

海外短信



～インド～

インドのデワリ祭りについて

～ 関西ペイント㈱ ～



先輩方とハヌマン様の前で

この4月に赴任したばかりで、インドという国については、まだ勉強中の身です。そこで、当社のデリー近郊にある自動車塗料のメイン工場バワルに勤務している先輩方のお話をご紹介します。

インドには、春先の水祭りホーリ (Holi) ,悪魔退治のダサラ (Dasara)、光の祭りでインドの新年を祝う光の祭りデワリ (Diwali) という三つの大きなお祭りが毎年あります。

デワリは、ヒンドゥ教で最も大きなお祭りで、毎年10月か11月に、2日間にわたって開催されるのですが、インド古来の叙事詩「ラーマヤナ」に由来しています。ヒンドゥ教の神様、「ラーマ王子」がセイロン島で猿神ハヌマンをお伴にして、悪魔退治した日をダサラとして祝い、その凱旋の日がデワリです。(今年は、11月5日、6日です)

当社バワル工場に生息していた猿が亡くなったので、霊を弔う為に日本の稲荷神社ならぬ「猿神ハヌマン」としてお社を建て祀っております。猿神ハヌマン様の活躍でラーマ王子が凱旋できた日を、工場にて一大イベントを実施しま

した。バワル工場が、お客様に末永く愛され、社会に貢献し続けて行けるよう祈願しております。

下記の写真は、デワリの時に、右腕に運命の赤い糸ならぬ『カラバ Kalava』という災いを防ぐ糸を、僧侶が巻き付けているところです。この糸が、翌年のデワリまで切れずにいると良い事があり、寿命も延びるとの事です。先輩の腕には、退色したカラバが切れずに残っています。



昨年のデワリ風景



本年6月11日現在のカラバ